



アカアマダイ稚魚を放流！

～ 出雲市小伊津沖で試験放流を実施 ～

島根県水産技術センターでは、県栽培漁業基本計画に基づいて平成 18 年度からアカアマダイの種苗生産技術開発に取り組んでいます。アカアマダイの種苗生産は技術的な課題が多く、全国的に見てもマダイやヒラメのような大量生産には至っていないのが現状ですが、この度、水産技術センター浅海庁舎（松江市鹿島町）において昨年度に生産したアカアマダイの種苗約 1,500 尾を出雲市平田町小伊津沖合において放流しました。この海域で漁獲されるアカアマダイは「小伊津のアマダイ」として世に知られる有名なブランドです（写真 1）。



写真 1 京都市場に並んだ小伊津のアマダイ

放流の概要

放流したアカアマダイは平成 22 年 9 月に浅海庁舎で採卵し、約 6 ヶ月陸上水槽で飼育したものです（平均全長 8 cm）。種苗には標識として着色シリコン樹脂（イラストマー）を頭部に注入し（写真 2）、再捕された際に放流魚であることが分かるようにしてあります。



写真 2 イラストマー標識の付いた魚（○の緑色の部分が標識）



写真 3 ビニール袋に入れられた稚魚

放流は 4 月 22 日に実施し、50～60 尾ずつビニール袋に入れた状態で水産技術

センターの調査船「やそしま」で放流地点である出雲市小伊津沖まで輸送しました（写真 3）。

放流地点に到着後、水を張った水槽に入れた放流かごに稚魚を移し（写真 4）、数回に分けて放流点である水深 80m へとゆっくり下ろし（写真 5）、着底後かごのふたを解放し稚魚を放流しました。



写真4 稚魚を放流かごに移す



写真5 放流かごを沈める

皆さまへのお願い

水産技術センターでは右のようなパンフレットを作成し、再捕報告のお願いをしております。「イラストマー標識」などの標識の付いた魚を漁獲された際には、水産技術センターの方まで一報いただければ幸いです。

皆様からの報告により放流魚がどのくらい成長したり、移動したりするかなど、生態や放流効果を推定するのに必要な知見を得ることができ、今後の調査研究に役立てることが出来ます。

どうかよろしくお願いたします。

アカアマダイを放流しました



放流年月日 平成23年 4月22日
 放流場所 島根県出雲市小伊津沖 水深 86m
 放流尾数 1,500尾
 サイズ 全長 8センチ
 標識 イラストマー(体内にシリコン樹脂を埋め込むタイプの標識。現在アカアマダイの標識として非常によく使われている。)

お願い!!

標識がついたアカアマダイを再捕されましたら、次のことをお知らせ下さい。

- ① 再捕年月日
- ② 再捕場所
- ③ 大きさ

連絡先 島根県水産技術センター
 (担当:清川) TEL 0852-82-0073
 FAX 0852-82-2079

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1

TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079

ホームページ: <http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp